

## ベリーベリーハッピーワンダフルナイト

### <登場人物>

Mikako (ミカコ) ラップ部の紅一点

BIG (ビッグ) ラップ部の部員

MC 心太 (エムシーシンタ) ラップ部の部員

近藤和也 (カズヤ) 短歌部の部長

斎藤貴志 (タカシ) 短歌部の部員

内田翔 (ショウ) 短歌部の部員

### 1. 駐車場

車をとまる。

短歌部の3人が下りる。

タカシ 「長かったー」

カズヤ 「到着だ ここが今年の 合宿所 大会に向け 精進しよう」

ショウ、カズヤの隣に並ぶ。

ショウ 「山中湖 初めて来たよ 大きいな 富士山近い 綺麗だな」

タカシ 「何それ、ずっとやるの？」

タカシ笑う。

三人、宿舎の前に並んで立ち止まる。

カズヤ 「その通り 合宿中は ずっとだよ リズムを体で 覚えるために」

### 2. 宿舎の部屋 (研修室的なところ)、昼

短歌部の三人が向かい合って座って短歌をよんでいる。

カズヤ 「よし、午前中はこの辺にしておこうか」

ショウ 「疲れたー」

タカシ 「大会まで時間ないからな、頑張らないと」

ショウ 「そうだね」

カズヤ 「じゃあ午後は1時にまたここに集合、それまでは各自休憩ってことで」

タカシ 「はい」

### 3. 宿舎の外1

タカシ、ショウ宿舎から出てくる。

タカシ 「カズヤ気合い入りすぎだなー」

ショウ 「まあ最後の大会だしね」

タカシ立ち止まる。

タカシ 「何あれ」

離れたところでラップ部がサイファーしている。

ショウも立ち止まる。

ショウ 「なんだろ、ラップ？うち以外にも合宿に来てるとこ多いみたいだよ」

タカシ 「へー」

ショウ 「うちの練習の邪魔にならないといいけどね」

ショウ歩き出す。

タカシ 「そうだね」

タカシも歩き出す。

#### 4. 宿舎の外2

ラップ部がサイファーしている。

ビッグ 「あー、もう暑いよ。誰だよ合宿しようとか言い出した奴は」

シンタ 「言い出したのは自分じゃねえか 今は喧嘩の気分じゃねえが  
文句を言うのはお門違い わめくお前は女子みたい」

ビッグ 「悪かったよ俺マジ反省 けどディスられんのはマジ勘弁  
だって俺らは仲間だろ やっと来たんだ山中湖」

ミカコ 「分かった分かったもういいよ、午前中はここまでにしよう。  
午後は場所変えてやろうか」

シンタ 「賛成」

ミカコ 「じゃあとりあえず今から休憩で」

ビッグ 「了解～」

#### 5. 宿舎の通路

ビッグとシンタが二人で歩いている。

ビッグ 「やっぱ練習するなら屋内が良いよ」

シンタ 「おっ、早速良さげな部屋発見～」

二人、部屋に入る。

#### 6. 宿舎の部屋、午後

ビッグとシンタが部屋に入ってくる。

短歌部の三人が座っている。

ビッグ 「なんだお前ら」

タカシ 「そっちこそなんだよ。僕らは今短歌の練習中なんだ、出てっくれないか」

シンタ 「yo 俺の名前はMC心太 文句があるならこの俺に言いな

俺ら控えてる選手権　そんでお前ら短歌のセンスねえ  
だからここでは俺らが練習　許しはしないお前らの占有  
分かったらさっさとここから出てけ　お前らの使用权は元からねえぜ」

タカシ 「何言ってんだこいつら」

ショウ立ち上がる。

ショウ 「それは違う　こちらにあるさ　使用权　利用予約は　早い者勝ち」

ショウ、『研修室利用予約表』と書かれた紙の束を差し出す。

ビッグ 「なんだこれ」

カズヤ 「この表に　名前を書いた　団体が　部屋使う権利　あるってことだ」

ビッグとショウ、紙を覗き込む。

表には『〇〇高校短歌部』の文字。

部屋にミカコが入ってくる。

ミカコ 「おお、お前ら、こんなところに、、、」

ミカコ、カズヤと目が合う。

ミカコ 「、、いたのか」

シンタ 「ミカコ、こいつらがいるせいで練習できないんだよ」

ショウ 「こっちはちゃんと許可をとって使っているんだ、文句言われる筋合いはないね」

ミカコ 「もういいよ、行こう」

ミカコ、部屋を出ていく。

ビッグ 「おい、ミカコ！」

ビッグとショウ、ミカコについていく。

## 7. 外、木陰

ラップ部三人が地面に座っている。

ビッグ 「あっちいよ～、結局外かよ」

ビッグ地面に寝ころぶ。

ショウ 「おい、ミカコ、どういうことだよ」

ミカコ、俯いてぼーっとしてる。

ビッグ 「ミカコ？」

## 8. 宿舎の部屋

短歌部が短歌をよんでいる。

カズヤぼーっとしている。

ショウ 「カズヤ、おい、カズヤ」

カズヤ 「あ、ああ」

タカシ 「どうしたんだよ、集中しろよ？」

カズヤ 「悪い、何でもない」

## 9. 外、夜

ミカコ、外で一人で座っている。

ミカコ 「なんなんだこの胸の高鳴り こんな感じたこと未だない  
わたしにとって初めての感覚 そういやあいつら言ってた短歌部」

ミカコ 「、、短歌ってなんだ？」

カズヤ、歩いてくる。

カズヤ 「あの子が気 になるあの子が 気になるあ  
の子が気になる あの子が気になる」

カズヤ 「あー、だめだだめだ、、」

カズヤ、ミカコの前を通りかかる。

二人、目が合う。

二人 「あ」

## 10. 宿舎、ラップ部の部屋

ビッグ 「あれ、ミカコは？」

シンタ 「そういやいないね。夜は三人で DVD 見る約束してたのに」  
シンタ、鞆からラップの DVD を取り出す。

ビッグ 「先に見ようか」

## 11. 外

ミカコ、カズヤが向かいあい立っている。

『めばえた恋（※別項参照）』を歌って踊る。

## 12. 宿舎、ラップ部の部屋

ビッグとシンタが座っている。

シンタ 「遅い、何やってんだよミカコは」

ビッグ俯いて何か考えている。

シンタ 「どうした？」

ビッグ顔を上げる。

ビッグ 「あいつらだ」

## 13. 宿舎、短歌部の部屋

タカシとショウが紐でぐるぐる巻きにされて座っている。

タカシ 「違うよ、俺らは関係ないって」

ビッグ 「嘘つくんじゃねえ、昼に会った時からうちのミカコのこと変な目で見てたの知  
ってんだぞ。特にお前らの部長なんて」

シンタ 「あれ、でもそういえば部長いないね」

ショウ 「そうなんだよ、僕らも今探してたところなんだ」

タカシ 「だから俺らは関係ないっていつてるだろ。さっさとこの紐を解いてくれよ」  
曲が聞こえる。

ビッグとシンタが窓を開け、顔を出し外を見る。

ミカコとカズヤが立っている。

#### 14. 外、フィナーレ

『ベリーベリーハッピーワンダフルナイト (※別項参照)』を歌い、踊る。

終

※歌詞 1

『めばえた恋』

- ミカコ 「ねえ、短歌って何？」  
カズヤ 「それは 31 音に思いをのせる歌」  
ミカコ 「ねえ、短歌って何？」  
カズヤ 「それは 1000 年もの歴史をもつ歌  
けれども今日はなんだか上手に短歌がよめないんだ」
- カズヤ 「ねえ、ラップって何？」  
ミカコ 「それは音にのせるメッセージ」  
カズヤ 「ねえ、ラップって何？」  
ミカコ 「それはビートにこめた私の思い  
けれども今日はなんだか上手にラップできないんだ」
- カズヤ 「君を見てから」  
ミカコ 「あなたを見てから」  
二人 「この気持ち上手く言葉で表せないの」  
ミカコ 「この思い」  
カズヤ 「この思い」  
二人 「言葉にして表したい」  
ミカコ 「だけど何故胸がつまって言葉がでてこないの」  
カズヤ 「だけど何故胸がつまって言葉選べないの」  
ミカコ 「これが？」  
カズヤ 「これが！」  
二人 「もしかして、恋」

※歌詞 2

『ベリーベリーハッピーワンダフルナイト』

ミカコ 「あなたと出会えてなんて幸せな夜」

カズヤ 「君と出会えてなんて素敵な夜」

二人 「思いを伝えるのに」

カズヤ 「短歌も！」

ミカコ 「ラップも！」

二人 「いらない〜」

ビッグ 「yo 楽しそうだぜお二人さん けどこんな密会はもう解散  
今から始まる俺らのショータイム 短歌部部長の出番はもうない」

シンタ 「けれどもなんだか楽しそう 俺もみんなと歌いたい  
いやいやこれはラップの合宿 あー、いったい俺はどうすれば」

ミカコ 「歌はみんなが一つになれる」

カズヤ 「そうさみんな楽しくなれる」

タカシ 「僕らは無実の罪を着せられて  
こんな感じでぐるぐる巻き」

ショウ 「けど楽しい音楽聞こえてきたら  
そんなことなんか忘れちゃう」

ミカコ、カズヤ 「ほら、みんなで一緒に歌おうよ！」

6人 「そうさ今夜はベリーベリーハッピーワンダフルナイト」

ビッグ、ショウ 「歌い、踊り、飲み明かそう」

6人 「そうさ今夜はベリーベリーハッピーワンダフルナイト」

カズヤ、シンタ 「争いなんかもうやめて」

6人 「そうさ今夜はベリーベリーハッピーワンダフルナイト」

カズヤ 「君といたいよいつまでも」

6人 「そうさ今夜はベリーベリーハッピーワンダフルナイト」

ミカコ 「今夜出会った二人のために」

6人 「ベリーベリーハッピーワンダフルナイト」